

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本理念	1 子どもの最善の利益を考えるとともに、子ども自らの「育つ力」を大切にします。 2 父親・母親を中心とした、家庭の「育てる力」を大切にします。 3 子育ての負担を家庭だけに負わせることなく、地域や職場が子どもと子育て家庭を応援します。 4 行政は、地域や職場と連携しながら、子どもと子育て家庭を応援します。
計画目標	子育て、子育てをみんなが応援するまち ねいま 練馬区では、父親・母親その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本認識の下に、地域社会全体で家庭の「育てる力」と子ども自らの「育つ力」を応援することによって、安心して子育てができるまち、そして、子どもが未来に希望を持ち、次代を担う力を身につけることのできるまちの実現をめざします。
基本目標	I 子どもたちの「育つ力」と子育て家庭の「育てる力」を応援します II 子どもと親の健康づくりを応援します III 子どもの健やかな成長を助けるため教育環境を整備します IV 子どもと子育て家庭を応援するまちづくりを進めます V 支援が必要な子どもと子育て家庭を応援します VI 計画の着実な推進を図ります

※網掛け項目は、目標達成事業(24事業)です。

※ * 印は練馬区長期計画の見直し等に合わせて変更した目標値です。

基本目標	I 子どもたちの「育つ力」と子育て家庭の「育てる力」を応援します					
基本施策	1 子育て支援についての情報提供、相談機能の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-1-2 子ども家庭支援センターの整備	施設数	4か所	5か所	先駆型センター 1か所 従来型センター 4か所	◆ I-1-2 「子ども家庭支援センターの整備」 練馬駅北分室を開設した。	平成26年度に開設した練馬駅北分室では、子どもと家庭の総合相談、乳幼児一時預かりを実施した。 すくすくナビゲーター事業は、子育て支援情報冊子を発行した。
I-1-4 (仮称)すくすくナビゲーター事業の実施	-	-	子育て支援情報冊子の発行	*子育て支援情報冊子の発行	◆ I-1-4 「(仮称)すくすくナビゲーター事業の実施」 子育て支援情報冊子を発行した。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策		2 子育て家庭の交流の促進				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-2-1 子育てのひろば	施設数	びよびよ 5か所 にこにこ 63か所 放課後児童等の広場 (民間学童保育)事 業 3か所 民設子育てのひろば への支援 8か所	びよびよ 9か所 にこにこ 75か所 放課後児童等の広場 (民間学童保育)事 業 2か所 民設子育てのひろば への支援 13か所	11か所 63か所 3か所 13か所	◆ I-2-1「子育てのひろば」 立野地区区民館学童クラブの移転後の跡施設 を、立野地区区民館びよびよとして開設した。 にこにこは学童クラブの運営の委託化に伴い、 4か所において実施日数を拡大した。また、一部 施設では、より利用が見込まれる日に実施曜日 を変更した。実施施設数の増加については施設改修 などで休止していた施設が再開したためである。 民設子育てのひろばを運営する団体を公募して 2団体を選定し、豊玉北と大泉学園町の2か所に 新規開設し、13か所となった。	びよびよは、今後も地区区民館等の学童ク ラブが移転した跡施設を利用し、子育てのひ ろばが設置されていない地域に設置してい く。 民設子育てのひろばについては、今後も支 援を実施する。 講座については、今後も継続して実施す る。
I-2-4 子育て支援啓発講座の 実施	ノーバティーズパー フェクト・子育て支援 啓発講座の実施	ノーバティーズパー フェクト 定員12名程度×6回 講座×3会場 子育て支援啓発講座 の実施	ノーバティーズパー フェクト 定員12名程度×6回 講座×4会場 講座の実施	定員12名程度×6回 講座×4会場 講座の実施	◆ I-2-4「子育て支援啓発講座の実施」 ノーバティーズパーフェクト講座の実施 (定員12名×6回講座×4会場)	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策		3 子育て家庭を地域で支える仕組みづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-3-2 児童館を地域の核とする 子育て支援ネット ワークの構築	ネットワーク構築児童 館数	5館	17館	17館	◆I-3-2「児童館を地域の核とする子育て支援 ネットワークの構築」 平成25年度に目標を既に達成している。	地域懇談会の開催や地域の情報を掲示する ことによって、児童館（全17館）が子育て支 援ネットワークを構築することができてい る。引き続き取組みのさらなる充実を図って いく。 ファミリーサポートセンター事業は、今後 も区民相互援助の精神で、身近な地域での育 児援助活動を行うことを支援する。
I-3-3 ファミリーサポート （育児支えあい）事業	援助依頼 受付体制の充実 援助会員の増員・育成 保育サービス講習会の 充実	3か所（区全体） 保育サービス講習会 年間4回	ファミリーサポート センター1か所で実 施 保育サービス講習会 年間4回	援助依頼 受付体制の充実 援助会員の増員・育 成 保育サービス講習会 の充実	◆I-3-3「ファミリーサポート（育児支えあ い）事業」 保育サービス講習会の充実を図り、援助会員の 増員、育成を行っている。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策		4 保育サービスの充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-4-1 保育所待機児の解消	定員数 認可保育所 認証保育所 家庭福祉員 駅前グループ保育室 保育室 幼稚園預かり保育 認定こども園	9,644人 83園 8,253人 27か所 798人 福祉員41人、120人 8室 66人 8室 152人 6園 155人 2園 100人	12,579人 110園 10,577人 38か所 1,212人 福祉員57人、168人 3室 27人 4室 93人 4園 100人 5園 280人 【平成25年度から開始】グループ型家庭的保育事業 4か所 55人 【平成26年度から開始】小規模保育事業(スマート保育) 4か所 67人	*12,170人 *103園 10,171人 *41か所 1,377人 *福祉員57人、167人 8室 75人 — *4園 100人 *6園 280人 — —	◆I-4-1「保育所待機児の解消」(駅前グループ保育室) 平成26年度末ですべての施設を廃止した。(認証保育所) 新規に2か所開設した。(7月 ラフ・クルー大泉保育園【定員36人】、8月 ナーサリールームベリーベアー練馬【定員40名】) (認定こども園) 定員については、大泉小鳩幼稚園が30名の定員増を実施した。 (グループ型家庭的保育事業) 新規に2か所開設した。(6月 にじいろ保育ルーム練馬【定員15人】、保育ルームびていば【定員10人】) (小規模保育事業(スマート保育)) 新規に4か所開設した。(ルーエ保育園【定員19人】、保育ルームさくらんぼ【定員18人】、ピーターパンアカデミー練馬北町Ⅰ【定員15人】、ピーターパンアカデミー練馬北町Ⅱ【定員15人】) ※保育所の定員数は、平成27年3月31日付でカウントしており、平成27年4月1日開設分を含めると、13,505人となっている。	子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、地域型保育事業へ移行した。(認証保育所・保育室・短期特例保育を除く) 駅前グループ保育室については、平成27年3月をもって事業を廃止したが、小規模保育事業施設4か所が新設され、0～2歳児の定員数増がされている。 短期特例保育や一時預かり事業については、保育園新設に伴い、順次事業を開始し、多様な保育の需要にも対応している。 乳幼児一時預かりは、練馬駅北分室を開設し、通年で実施するとともに、当日受けを導入した。
I-4-2 乳幼児一時預かり事業	施設数 定員数	4か所 36人 放課後児童等の広場(民間学童保育)事業 2か所	5か所 53人 放課後児童等の広場(民間学童保育)事業 2か所	5か所 46人 2か所	◆I-4-2「乳幼児一時預かり事業」 5か所、53人定員で実施。	
I-4-5 短期特例保育	保育員数 定員数 <入所定員の空き利用> 施設数	9人 27人 保育所65園 認証保育所13か所 保育室8室	6人 18人 保育所88園 認証保育所26か所 保育室4室	14人 42人 81園 30か所	◆I-4-5「短期特例保育」 私立保育所7園において事業を開始した。(平成26年4月ベネッセ中村橋、Nicot石神井公園、コピーブリススクールせきまち、グローバルキッズ大泉園、グローバルキッズ光が丘園、にじいろ保育園氷川台、にじいろ保育園早室) 認証保育所2園において事業を開始した。(平成26年7月ラフ・クルー大泉保育園、8月ナーサリールームベリーベアー練馬)	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策		4 保育サービスの充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-4-6 一時預かり	施設数 定員数	区・私立保育所 6園 45人	区・私立保育所 21園 133人	13園 84人	◆I-4-6「一時預かり」 私立保育所7園で事業を開始した。 (平成26年5月にじいろ保育園新桜台、平成27年3月ベネッセ中村橋保育園、コピーブリス쿨せきまち、妙福寺保育園、グローバルキッズ光が丘園、にじいろ保育園氷川台、にじいろ保育園早宮)	病児・病後児保育については、平成26年度中に開設の準備を行ったが、開設は平成27年4月となった。 延長保育事業は平成26年度末で目標を達成した。保護者の多様な就労形態や保育サービスへの要望に対応するため、さらなる保育サービスの充実を図る。
I-4-7 病児・病後児保育	施設数 定員数	病後児保育 4か所 22人	病後児保育 1か所 4人 病児・病後児保育 4か所 32人	*病児・病後児保育 6か所 36人	◆I-4-7「病児・病後児保育」 ココネリ4階「こどもほっとステーション」内に、平成26年8月にナーサリールームベリールア練馬【定員10人】を開設した。 また、高野台地域に病児・病後児保育室みつばちねりま【定員10人】を整備し、病児・病後児保育事業の充実を図った。(施設は平成27年4月開設)	
I-4-8 延長保育	施設数	区・私立保育所 計40園 朝30分 6園 夕1時間 31園 夕1時間30分 1園 夕2時間 7園 夕2時間30分 1園	区・私立保育所 計74園 朝30分 33園 夕1時間 29園 夕1時間30分 3園 夕2時間 42園 夕2時間30分 1園	*計66園 朝24園 夕66園	◆I-4-8「延長保育」 区立保育所1園で朝30分、夕2時間の延長保育を開始した。 区立保育所1園で実施時間を夕1時間から朝30分、夕2時間へ延長した。 私立保育所4園で朝30分、1園で夕1時間、5園で夕2時間の延長保育を開始した。	
I-4-9 認定こども園	施設数 定員数	2園 100人	5園 280人	*6園 280人	◆I-4-9「認定こども園」 認定こども園の定員については、大泉小鳩幼稚園が30名の定員増を実施した。	
基本施策		5 児童館、地区区民館、厚生文化会館、学童クラブ事業等の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-5-6 中高生の居場所づくり	実施児童館数	2館	10館	10館	◆I-5-6「中高生の居場所づくり」 新たに栄町児童館・東大泉児童館で中高生の居場所づくり事業を開始した。既実施8館と合わせて計10館での事業実施となった。	今後毎年2館ずつ実施館を増やしていく。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策		6 その他の居場所、遊び場、多様な体験機会の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-6-9 学校応援団推進事業	施設数	小学校57校	小学校65校	65校	◆I-6-9「学校応援団推進事業」 平成22年度に全小学校に設置完了した学校応援団が、すべて「ひろば事業」を実施した。	<p>全65校で学校応援団の設置およびひろば事業の実施により、放課後児童の居場所の確保および異世代交流が図れた。</p> <p>また、学童クラブと学校応援団ひろば事業の連携実施により、学童とひろばの子どもたちが一緒に遊んだり、それぞれが主催する行事に参加することが可能となり、子どもたちの遊びの幅や活動場所が拡大した。</p> <p>今後もひろば事業の実施日数の拡大や学童クラブと学校応援団ひろば事業の連携実施を通して、子どもたちの居場所づくりを推進する。</p> <p>外遊びの提供事業は、今後も継続できるように、団体と協働して取り組んでいく。</p>
I-6-14 練馬区における「放課後子どもプラン」	学校応援団の設置 学童クラブ事業とひろば事業の連携 校内学童クラブ設置	57校 学童クラブ事業とひろば事業の連携の本格実施 33校 学童クラブ設置数 (近隣設置校含む) 42校	65校 学童クラブ事業とひろば事業の連携の本格実施 64校 学童クラブ設置数 (近隣設置校含む) 49校	65校 学童クラブ事業とひろば事業の全小学校での連携 学童クラブの校内移設・整備	◆I-6-14「練馬区における「放課後子どもプラン」」 大泉学園緑小学学童クラブ室とひろば室(合築)の建設工事が平成27年3月に終了し、4月に開設した。	
I-6-15 ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業	講座数	小中学生および親子対象講座 435講座 障害のある子どものための連続講座 6講座 中学生対象連続講座 —	小中学生および親子対象講座 427講座 障害のある子どものための連続講座 18講座 中学生対象連続講座 情報教育推進事業で実施 2講座	小中学生および親子対象講座 390講座 障害のある子どものための連続講座 5講座 中学生対象連続講座 5講座	◆I-6-15「ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業」 区内公共施設等で445回の講座を実施し、延べ13,654人が参加した。そのうち、障害児を対象とした講座には延べ231人参加した。	
I-6-16 外遊びの場の提供	事業実施	外遊びの場提供事業 案検討 活動団体調査	補助実施	外遊びの場提供事業の実施	◆I-6-16「外遊びの場の提供」 平成22年度に選定した団体に補助を実施し、区内9か所で事業を実施した。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策						
7 子ども自らが考え、参画する機会の拡充						
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-7-4 ねりま遊遊スクール (子どもによる講座づくり)事業	講座数	13講座	27講座	48講座	◆I-7-4「ねりま遊遊スクール(子どもによる講座づくり)事業」 区立中学校等で27回の講座を実施し、延べ674人参加した。(平成25年度比で112人増)	今後も子どもたちが主体的に考え、参画できる場の提供を進める。
基本施策						
8 経済的な支援						
【計画事業なし】						
基本施策						
9 誰もが働きやすい就業環境の促進						
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-9-9 男女共同参画計画に基づく施策の推進	施策の推進	次期練馬区男女共同参画計画の策定に向けての提言 女性の労働実態調査の実施	ワーク・ライフ・バランス等の普及啓発のため、企業・事業所の雇用主および人事労務担当者等を対象にセミナーを開催するとともに、働きたい女性のための就労準備講座を開催。	施策の推進	◆I-9-9「男女共同参画計画に基づく施策の推進」 ・企業・事業所向け男女共同参画セミナー「～誰もが「介護」を背負う時代に向けて～はじめよう!「仕事と介護の両立支援」の取組み」 日時：平成26年11月28日(金) 参加：32名 ・働きたい女性の就労準備講座「わたしを知ってわたしを活かす!」 日時：平成26年9月25日(木) 参加：21名	第3次練馬区男女共同参画計画に沿って、ワーク・ライフ・バランスを推進する。今後も、企業・事業所向けセミナーや区民向け講座を実施する。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本目標	Ⅱ 子どもと親の健康づくりを応援します					
基本施策	1 健康診査等の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅱ-1-3 幼児歯科健康診査	1歳6か月幼児歯科健康診査受診率	84.8%	88.9%	90%	◆Ⅱ-1-3「幼児歯科健康診査」 ・実施場所：保健相談所 ・1歳6か月幼児歯科健康診査 対象者数：6,112人 受診者数：5,435人 ・2歳幼児歯科健康診査 対象者数：5,996人 受診者数：4,854人 ・2歳6か月幼児歯科健康診査 対象者数：5,939人 受診者数：1,987人 ・3歳幼児歯科健康診査 対象者数：5,830人 受診者数：5,442人 むし歯のない者：4,775人	歯科健診においては、受診率の維持・向上のために、未受診者に受診勧奨等を行っている。 その結果、各歯科健診とも計画に沿って順調に進んでおり、1歳6か月幼児歯科健康診査以外は目標値を達成した。 さらに、生活習慣の改善とフッ化物配合歯磨剤の使用について、保健指導やリーフレットを用いた啓発をしたことで、3歳児のむし歯のない子の割合は年々増加を続け、早い段階で目標値を達成することができた。
	2歳幼児歯科健康診査受診率	80%	81.0%	80%		
	2歳6か月幼児歯科健康診査受診率	25.9%	33.5%	30%		
	3歳幼児歯科健康診査受診率	89.5%	93.3%	90%以上		
	3歳児のむし歯のない子の割合	82%	87.7%	85%		
基本施策	2 健康相談の充実と育児不安の解消					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅱ-2-4 妊産婦訪問指導、産後相談	産婦訪問指導実施率	86.9%	89.8%	90%以上	◆Ⅱ-2-4「妊産婦訪問指導、産後相談」 妊娠届および妊婦アンケートから支援を開始した妊婦について、出産後も継続して対応する体制を取っている。 また、関係機関から、支援が必要な妊婦の情報もタイムリーに提供してもらえるような体制を作った。 支援が必要なハイリスク妊婦が上がった場合、保健相談所内で検討会議を開き、対応を検討する場を位置づけた。	妊娠期および出産後に健康問題や育児不安を抱える家族を早期に把握し、支援が開始できるように仕組みづくりを行う。早い段階から支援を行うことにより、子育て中の健康問題の悪化や児童虐待への移行を防ぐ。
Ⅱ-2-5 ごんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）	新生児等訪問実施率	(低体重児) 49.0% (新生児) 86.5%	91.4%	90%以上		

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策	3 予防接種の推進					
【計画事業なし】						
基本施策	4 小児(救急)医療・周産期医療の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅱ-4-6 病床確保事業	新病院の整備 既存病院の増築・増床	練馬区病床確保・ 医療機能拡充検討委 員会において、新病 院の整備および既存 病院の増築・増床に ついての具体的方策 と区内の小児医療・ 周産期医療等の機能 の拡充についての、 具体策をまとめる。	順天堂大学医学部 附属練馬病院の増築 棟建設用地を確保す るため、石神井東中 学校の一部敷地と、 同校に隣接する民有 地の土地を交換する 契約を締結した。交 換後の土地に同校の 体育施設を建設する ため、基本・実施設 計を進めた。 周産期セミオーブ ン事業を引き続き実 施した。	*新病院(500床程 度)の整備に向けた 関係機関協議 *既存病院増床によ る医療機能の充実 *練馬区地域医療計 画に基づく小児医 療・周産期医療の充 実	◆Ⅱ-4-6「病床確保事業」 順天堂大学医学部附属練馬病院は、増床および 周産期医療をはじめとした医療機能の拡充を図る 予定である。平成26年度は病院の増築棟を建設 するための土地交換契約を行うとともに、中学校 体育施設の基本・実施設計を進めた。 周産期医療の充実を図るため、公益社団法人地 域医療振興協会練馬光が丘病院に、「周産期セミ オープンシステム事業」を委託し実施した。 ※周産期セミオープンシステム 出産を取り扱う病院と地域の診療所が連携し、 妊娠32週頃までの妊婦健診を診療所で受診し、 以降は病院で受診する。 分娩時は病院に入院し、病院の医師が分娩を扱 う。	順天堂大学医学部附属練馬病院の増床およ び医療機能の拡充の中で、周産期医療等の充 実を図っていく。 分娩できる医療機関の増加が難しい状況の 中、周産期セミオープンシステムを委託する ことによって、医療機能に応じた役割分担を 図っていく。
基本施策	5 食を通じた子どもの健全育成					
【計画事業なし】						
基本施策	6 思春期における保健対策の充実					
【計画事業なし】						

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本目標	Ⅲ 子どもの健やかな成長を助けるため教育環境を整備します					
基本施策	1 生きる力を育成する学校教育					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-1-2 少人数指導等指導方法の充実	実施学校数	(少人数指導) 小学校56校 中学校20校 (ティームティーチング) 小学校7校 中学校12校	(少人数指導) 小学校62校 中学校25校 (ティームティーチング) 小学校5校 中学校11校	65校 34校 7校 11校	◆Ⅲ-1-2「少人数指導等指導方法の充実」 学級を分割して少人数指導を実施する際に、学力向上支援講師(区非常勤職員)を指導者として活用する計画がある学校に、学力向上支援講師を配置できた。	
Ⅲ-1-10 教育相談	か所数	3か所	3か所	4か所	◆Ⅲ-1-10「教育相談」 4か所目である(仮称)大泉分室の基本設計を完了した。	各校とも組織的な取組みを展開することにより、児童・生徒の学習状況を把握した指導を実践した。児童・生徒の学習状況に応じたグループ編成や情報交換に基づいたきめ細かい指導により、分かる授業を展開していく。
Ⅲ-1-15 小中一貫・連携教育の推進	小中一貫・連携教育の推進	小中一貫教育校実施計画(中間報告)の作成	小中一貫教育校開校 小中一貫教育研究グループ・実践校での取組み推進(小学校39校・中学校24校) 「練馬区小中一貫教育推進方策」「知的障害学級における小中一貫教育推進方策」の実践 2校目の小中一貫教育校の検討	小中一貫教育校開校 小中一貫・連携教育の推進 小中一貫教育校(2校目)の検討	◆Ⅲ-1-15「小中一貫・連携教育の推進」 平成26・27年度小中一貫教育研究グループとして7組21校の小・中学校を、平成25・26年度研究グループとして小学校1校を指定した。 知的障害学級における小中一貫教育推進方策に基づき、障害別小中合同研修や小中ブロック協議会の開催、段階表の作成などを開始した。	小中一貫教育の推進については、小中一貫教育の研究グループ指定を拡大し、平成26年度末には、小中一貫教育校を除く33中学校区中24中学校区が小中一貫教育研究グループまたは小中一貫教育実践校となった。2校目の小中一貫教育校については、検討は行ったが具体的な計画の策定には至らなかった。 特別支援学級については、計画どおり設置することができた。東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画では、平成28~30年度に「特別支援教室」を設置することとなっている。これは、情緒障害児等について、今のように児童・生徒が特別支援学級設置校に通級するのではなく、拠点校から巡回指導教員が在籍校にて指導を行うというものである。
Ⅲ-1-16 特別支援学級の設置	実施校数	知的障害学級 小学校 10校 中学校 8校 情緒障害等通級指導学級 小学校 7校 中学校 2校	知的障害学級 小学校 15校 中学校 8校 情緒障害等通級指導学級 小学校 8校 中学校 4校	*15校 8校 8校 4校	◆Ⅲ-1-16「特別支援学級の設置」 計画どおり設置することができた。	
Ⅲ-1-17 学校教育支援センターの整備 ※(仮称)を外しました。	整備・運営	整備方針の策定	運営	整備・運営	◆Ⅲ-1-17「学校教育支援センターの整備」 平成26年4月1日に学校教育支援センターを開設し、運営している。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策						
1 生きる力を育成する学校教育						
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-1-18 校舎等の耐震化の推進	耐震化率	81.80%	98.90%	*「練馬区長期計画」に基づく耐震化の推進	◆Ⅲ-1-18「校舎等の耐震化の推進」 補強工事 中学校1校	
Ⅲ-1-19 みどりと環境の学校づくりの推進	緑化工事実施校	校庭芝生化 28校 屋上緑化 9校 みどりのカーテン等 40校	校庭芝生化 37校 屋上緑化 12校 みどりのカーテン等 52校	*校庭の芝生化 42校 *屋上緑化 10校 *みどりのカーテン等 54校	◆Ⅲ-1-19「みどりと環境の学校づくりの推進」 ・校庭芝生化 豊溪小学校、光が丘秋の陽小学校 ・屋上緑化 豊玉第二中学校 ・みどりのカーテン等 豊玉第二小学校、中村小学校、大泉小学校、豊玉第二中学校	耐震補強工事による耐震化は完了した。今後は、練馬区耐震改修促進計画の区立小中学校耐震化計画に基づき、改築により耐震化を図っていく。 学校緑化については、今後は学校要望や校庭整備などに合わせて進めていく。 区立学校の適正配置では、過小規模状態が継続している2小学校それぞれにおいて、教育環境を考える会を開催し、保護者・地域の意見を聞き取りした。
Ⅲ-1-20 区立学校・区立幼稚園の適正配置	統合新校の開校 「第二次実施計画」の策定 「第二次実施計画」に基づく適正配置の推進	4統合準備会の運営	統合新校開校 4校 (平成22年4月) 区立幼稚園2園廃園 (平成25年度末) 教育環境を考える会 (2校×3回)を開催	統合新校の開校 4校 「第二次実施計画」の策定 「第二次実施計画」に基づく適正配置の推進	◆Ⅲ-1-20「区立学校・区立幼稚園の適正配置」 適正配置について検討した。 区立学校の適正配置では、過小規模状態が継続している2小学校について、教育環境を考える会を開催した。	
基本施策						
2 家庭教育への支援の充実						
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-2-2 子育て学習講座	講座数	子育て学習講座 83講座 親育ち講座 1講座	子育て学習講座 47講座 親育ち講座 14講座	75講座 5講座	◆Ⅲ-2-2「子育て学習講座」 区内公共施設等で61回の講座を実施し、延べ1,702人が参加した。そのうち、親育ち講座(ねりマイクメン講座)には延べ387人が参加した。	平成22年度より、父親や父親と子どもを対象とした「ねりマイクメン講座」を開設し、父親の子育て参加を図っている。今後は、家庭教育への支援を強化するため、効果的な事業のあり方について見直しを進める。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策	3 地域の教育力の向上					
	【計画事業なし】					
基本施策	4 幼児教育の充実					
	【計画事業なし】					
基本目標	IV 子どもと子育て家庭を応援するまちづくりを進めます					
基本施策	1 居住環境の整備と子育てバリアフリーのまちづくり					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-1-4 鉄道駅および駅周辺の ユニバーサルデザインの 促進	駅数	18駅	21駅 さらなるバリアフ リー施設の充実に向 けた調査研究	21駅 さらなるバリアフ リー施設の充実	◆IV-1-4「鉄道駅および駅周辺のユニバーサル デザインの促進」 バリアフリー施設の充実に向けて調査研究を 行った。	鉄道駅および駅周辺のユニバーサルデザイ ンの促進については、平成23年度に区内21 駅すべてにおいてバリアフリー化されたル ートが1ルート以上確保された。 今後もさらなるバリアフリー施設の充実 に向けて、鉄道事業者や関係機関に対し、様 々な機会を捉え適切な対応を求めていく。 公園整備に合わせ、区民からの要望を踏ま えながら、今後もだれでもトイレの設置を進 めていく。
IV-1-5 歩道のバリアフリー化	か所数	歩行者横断部改良工 事箇所184か所 電線類地中化事業 5か所	歩行者横断部改良工 事箇所281か所 電線類地中化事業 8か所	*286か所 12か所	◆IV-1-5「歩道のバリアフリー化」 歩行者横断部改良工事 20か所整備 電線類地中化事業 2か所完了	
IV-1-6 公園へのだれでもトイ レの設置	か所数	25か所	34か所	*34か所	◆IV-1-6「公園へのだれでもトイレの設置」 こどもの森緑地 土支田なごみ公園	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-2-2 自転車運転免許制度	「自転車安全運転カード」年間発行数	4,734枚	5,489枚 ※平成17～26年度 までの延べ発行枚数 45,140枚	6,000枚	◆IV-2-2「自転車運転免許制度」 区立小学校全校(65校)、5,489人(小学3 年生以上が対象で、学年は各学校が選択)に、自 転車の安全な乗り方の講習を行い、「自転車安全 運転カード」を発行した。	
IV-2-6 地域パトロール体制の 充実	パトロールの実施 パトロールカーの年間 貸出数 パトロール用品支給団 体数 パトロール協定団体数	24時間巡回パトロー ル 小学校周辺パトロー ル 夜間巡回パトロール	24時間巡回パトロー ル 小学校周辺パトロー ル 夜間巡回パトロール	24時間巡回パトロー ル 小学校周辺パトロー ル 夜間巡回パトロール	◆IV-2-6「地域パトロール体制の充実」 地域パトロールについては、「安全・安心パト ロールカー」7台体制で実施している。365日 24時間「安全・安心パトロールカー」を運行し ている。特に昼間の時間帯は、全小学校への立ち 寄りを、4台で1日1回実施している。また、P T Aなどの地域団体が、地域パトロールを行う際 に、「安全・安心パトロールカー」の貸出を行っ ている。 パトロール用品の支給については、地域団体に よる自主的なパトロール活動の支援として、区に 登録した団体に対し、ジャンパー・防犯灯の支給 などを行っている。 パトロール協定については、郵便局や宅配便、 新聞販売店などの業務で区内をまわる各種団体と パトロール協定を結び、区が作成したパトロール プレートを付けて巡回してもらっている。	「自転車運転免許制度」は、平成17年度か ら事業を開始し、平成25年度には全校での実 施に至った。 こうした取組みにより、小学生の自転車の 事故が減少するなど、自転車の安全利用に寄 与した。 パトロールカーの貸出数やパトロール団体 の登録数については、引き続き周知等を行い 増加に努める。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-2-11 児童・生徒の地域における緊急避難所の設置	設置学校数	(ひまわりの110番)56校 (ひまわりの110番とこども110番(カンガルー110番)の併用)6校 こども110番(カンガルー110番)6校 (独自の表示板)1校	(ひまわりの110番)56校 (ひまわりの110番とこども110番・カンガルー110番等の併用)9校	65校	◆IV-2-11「児童・生徒の地域における緊急避難所の設置」 既存のカンガルー110番表示からひまわり110番表示へ切替えを順次行い、表示板の統一を図った。	連携組織については、小学校を中心とした地域団体の連携の必要性を働きかけ、新たな組織の構築を図るほか、防犯・防火などですでに連携が見られている地域では、既存組織の強化による組織構築を進めていく。
IV-2-15 子ども安全学習講座	講座数	8講座	6講座	15講座	◆IV-2-15「子ども安全学習講座」 区内公共施設等で6回講座を実施し、延べ164人が参加した。	
IV-2-16 地域防犯防火連携組織の確立	設置地区数	7地区	17地区	*15地区	◆IV-2-16「地域防犯防火連携組織の確立」 地域住民団体や学校・区立施設などが連携して自主的に防犯・防火活動を行うことが出来る組織の設置について働きかけを行うとともに、当該組織が構築された場合、当該組織の運営費の一部について助成している。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-2-17 情報教育推進事業	講演会・講座数	情報教育講演会 5回	情報教育講演会 1回 情報教育家庭NIE 1講座 情報教育中学生のた めの番組制作 1講座	情報教育講演会 2回 情報教育家庭NIE 1講座 情報教育中学生のた めの番組制作 1講座	◆IV-2-17「情報教育推進事業」 子どもにとって有害な情報の実際と対策につい て学ぶ講演会を実施し、60人が参加した。 情報を発信する側に立った中学生のための ニュース番組制作講座を実施し、延べ240人が 参加した。 新聞を活用した講座を実施し、延べ62人が参 加した。	情報機器や情報通信ネットワークが普及し ていく中で、情報を収集し正しく判断する能 力や、自ら情報を発信していく能力を育成し ていくことを目的に平成22年度より、中学生 のためのニュース番組制作講座や、新聞を活 用した情報教育家庭NIE事業などを実施し た。 今後も、社会的な課題を捉え、参加者の要 望を踏まえながら、効果的な事業のあり方 について見直しを進める。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本目標	V 支援が必要な子どもと子育て家庭を応援します					
基本施策	1 児童虐待防止対策の充実					
【計画事業なし】						
基本施策	2 ひとり親家庭の自立の支援					
【計画事業なし】						
基本施策	3 障害児の健全な発達の支援					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
V-3-5 特別支援教育に関わる 教員の専門性の向上	研修会開催数	特別支援教育理解の ための研修会 年間4回 特別支援教育コー ディネーター養成研 修会 年間6回	特別支援教育研修会 年間3回 特別支援教育コー ディネーター研修会 年間4回 学校生活支援員研修 会 年間2回	特別支援教育理解の ための研修会 年間4回 特別支援教育コー ディネーター養成研 修会 年間6回 研修を充実させ、特 別支援学級および通 常の学級における特 別支援教育の一層の 充実を図る。	◆V-3-5「特別支援教育に関わる教員の専門性の の向上」 各校の実践や支援体制等について、参加者同士 で情報交換を行うことで、自校に生かすという視 点を参加者にもたせて、研修を深めた。 特別支援教育コーディネーター研修において は、経験年数の浅い者を対象にした内容を1回設 定したことで、基礎的・基本的な内容についても しっかり盛り込み、経験年数の浅い受講生の理解 を深めることができた。 各回で組織で対応することの必要性に触れ、各 校が組織的な対応を図ることの重要性について理 解を深めた。	研修の内容や回数については、国や都の動 向、また区内の学校や幼稚園等の実態なども 踏まえ設定してきた。回数は変化したが、内 容については、充実を図ることができた。今 後も研修内容を充実させ、特別支援学級およ び通常の学級における特別支援教育の一層の 充実を図る。 住宅のバリアフリーが標準化してきては いるが、住宅設備改善の助成は引き続き実施 していく。
V-3-11 心身障害者（児）に対 する住宅改造・改善の 助成	給付件数	障害児における住宅 設備改善費 50件	障害児（者）におけ る住宅設備改善 21件	*継続	◆V-3-11「心身障害者（児）に対する住宅改 造・改善の助成」 小規模改修 10件 中規模改修 6件 昇降機 1件 屋内移動 4件	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成26年度)

基本施策		3 障害児の健全な発達の支援				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成26年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成26年度の取組み、特記事項	基本施策のまとめ
V-3-12 心身障害者(児)に 対する居宅系サー ビスの充実	利用時間・日数	障害児における居 宅介護・重度訪問 介護・行動援護・重 度障害者等包括支 援利用時間 548,681時間 短期入所 利用日数9,340日 児童デイサービス 7,160日	障害児における居 宅介護・重度訪問 介護・行動援護・重 度障害者等包括支 援・同行援護 利用時間 702,535時間 短期入所 利用日数 21,967日 児童デイサービス (※特記事項参照)	障害児における居 宅介護・重度訪問 介護・行動援護・重 度障害者等包括支 援利用時間 750,000時間 短期入所 利用日数 15,000日 児童デイサービス 10,000日	◆V-3-12「心身障害者(児)に対する居宅系サービスの充実」 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援・同行援護 13,571人 短期入所 2,572人 ※児童デイサービスは法改正により平成24年度から下記のサービスに変更 放課後等デイサービス 6,147人 61,708日 児童発達支援 5,639人 33,747日	心身障害者(児)に対する居宅系サービスの充実については、訪問系サービスに比べ、通所系サービスに需要があり、それに対応した施策を展開している。
V-3-13 日常生活を容易に するための各種 援助	貸付・貸与件数	障害児における日 常生活用具貸付・ 貸付件数 8,836件	障害児における日 常生活用具貸付・ 貸付件数 10,752件	障害児における日 常生活用具貸付・ 貸付件数 13,000件	◆V-3-13「日常生活を容易にするための各種援助」(障害児において給付の多い種目) ・紙おむつ 601件 3歳以上であり、所定の障害状況にあるものを給付対象としている。	
V-3-18 こども発達支援セ ンターの整備 ※(仮称)を外しま した。	開設	基本計画策定	計画事業完了	開設	◆V-3-18「こども発達支援センターの整備」円滑な事業運営を行っている。	
基本目標	VI 計画の着実な推進を図ります					
基本施策	1 計画を推進する仕組みづくり					
【計画事業なし】						